

# 世界で見つけよう! ①だんの②らしを③あわせに

氏名：谷岡 明日美  
担当教科：英語  
時間数：4時間

学校名：新見市立新見第一中学校  
実践教科：英語・総合的な学習の時間  
対象学年：中学1年生  
人数：120名（4クラス）

## 【1】単元のテーマ・目標

異国の文化や生活を知り、広い世界に目を向ける。また、世界で働く日本人についての学習を深めることで、スリランカの福祉の現状や日本の生活との違いを知り、「持続可能な世界」を築くために、身近なところから改善できることについて考える。

## 【2】単元の評価規準例

(ア) 関心・意欲・態度	課題に興味をもち、積極的に取り組むことができる。
(イ) 思考・判断・表現	青年海外協力隊員の活動を知り、「持続可能な開発目標」の視点から、自分の生活について考えることができる。
(ウ) 技能	話し合い活動を通して協働学習を活発に進めることができる。
(エ) 知識・理解	スリランカの文化や歴史、日本とのつながりについて知る。「持続可能な開発目標」について知る。

## 【3】単元設定の理由

### <生徒観>

小学校の頃から自分の意見を発表する経験を積んできており、自分の考えを友達に伝えることや友達の意見を真剣に聞くことに意欲的に取り組むことができる。小学校の英語の授業でALTと積極的に活動し、アメリカやカナダなどのALTの出身国やテレビで見る機会の多い国についての知識はいくらかあるが、それ以外の国について知る機会が少ないと考える。

### <教材観>

1年生の総合的な学習の時間では、「福祉」をテーマに学習しており、この授業の1ヶ月前には生徒が新見市内の様々な事業所へ校外学習に出かけ、身近な福祉について学習してきた。「福祉」という言葉の定義が中学校1年生には難しいため、授業では「福祉＝普通の暮らしを幸せにすること」と定義した。今回の授業では、校外学習で学んだ新見市の福祉と、スリランカでの福祉を比較しながら考えさせたい。また、「持続可能な開発目標」について知ることで、自分自身ができることについても考える態度を養いたい。

### <指導観>

教師海外研修で出会った青年海外協力隊員の活動の尊さ、活動への熱い思いを伝えたい。そして、その活動がスリランカの様々な人達の普通の暮らしを幸せにすることとつながっていることを実感させたいと思った。少子高齢化の進む新見市を支える生徒たちが、世界の福祉や持続可能な開発目標を知ることによって、将来、多くの人、企業、国とのパートナーシップを結んでより良い開発を産み出す主役として育っていく力にしてほしい。

【4】展開計画（全4時間）

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1 英語	「世界を旅行しよう」 日本出国から目的地までの英語の情報を読みとる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛行機の搭乗券に記載されている英語の情報を読みとる</li> <li>・搭乗券に記載された都市が地図上のどこにあるのかを確認する</li> <li>・乗り継ぎ地のバンコクの空港で見つけたもののクイズに答える</li> </ul> <div data-bbox="683 501 1125 828" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="869 837 938 864">搭乗券</p> <div data-bbox="687 875 1125 1200" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="836 1209 970 1236">空港のクイズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛行機の搭乗券の写真</li> <li>・地図帳</li> <li>・スライド資料</li> </ul>
2 英語	「スリランカを知ろう」 スリランカの文化や歴史、日本とのつながりについて知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズでスリランカについて知る</li> <li>・シンハラ語とタミル語について紹介する</li> <li>・ジャヤワルダナ氏の演説を通して、日本との歴史的なつながりを知る</li> <li>・現在のスリランカの学校で取り入れられている5Sについて知る</li> </ul> <div data-bbox="683 1543 1125 1870" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="805 1883 1002 1910">スリランカクイズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライド資料</li> </ul>

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
		<div data-bbox="651 192 1093 521" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>スリランカは日本の最初の友達！</b></p> <p><b>1951年サンフランシスコ平和会議</b></p>  <p><b>スリランカ</b> ジャヤワルダナ大統領</p> </div> <p style="text-align: center;">ジャヤワルダナ氏の紹介</p> <div data-bbox="651 598 1093 927" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>スリランカの学校で見つけた日本！</b></p> <p><b>&lt;5S&gt;</b></p> <p><b>Seiri …整理</b></p> <p><b>Seiton…整頓</b></p> <p><b>Seisou…清掃</b></p> <p><b>Seiketsu…清潔</b></p> <p><b>Shitsuke…しつけ</b></p>  </div> <p style="text-align: center;">5Sについて</p>	
3 総合	<p>「世界を通して考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発途上国について知り、問題点を考える</li> <li>・持続可能な開発目標について知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JICA のウェブサイトから、開発途上国について知る</li> <li>・ スリランカの市場の写真とスリランカのスーパーマーケットの写真とを比べて、それぞれの問題点を考える</li> <li>・ 「持続可能な開発目標」が定められていることを知る</li> <li>・ 絵と説明のカードを組み合わせて、「持続可能な開発目標」の内容を知る</li> </ul> <div data-bbox="651 1391 1093 1648" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>Q. これらの写真からわかること・考えられる問題点をまとめましょう。</b></p>  </div> <p style="text-align: center;">スーパーマーケットと市場の様子</p> <div data-bbox="628 1722 1115 1906" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; width: 40px;"> <p><b>6</b></p>  </div> <div style="margin-left: 10px;"> <p style="text-align: center;">清潔な水と衛生を！</p> <p>水と衛生的な環境を管理して、誰もが衛生的な環境を得られるようにしたい。また、水の使い方に関する知識を広め、再利用を進めます。</p> </div> </div> </div> <p style="text-align: center;">SDGs 絵カードと説明カード</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スライド資料</li> <li>・ JICA のウェブサイト</li> <li>・ ワークシート【資料1】</li> <li>・ SDGs 絵カードと説明カード</li> </ul>

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
4 総合 本時	「世界の福祉～世界で働く日本人から学ぼう～」 ・青年海外協力隊員の活動を知り、福祉の現状を知る ・自分たちの生活を SDGs の視点で振り返る	・スリランカで働く青年海外協力隊員と NGO の活動を紹介する文章を読んで、内容とつながる写真を組み合わせる ・青年海外協力隊員たちの活動が、SDGs のどの目標と関わっているか話し合い、意見を発表する ・13歳の中学生ができることを考える	・スライド資料【資料2】 ・青年海外協力隊員の写真と紹介文 ・SDGs カード ・ワークシート【資料3】

### 【5】本時の展開

過程時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入	(1) SDGs を復習する。	・SDGs は 2030 年までに世界が協力して目指すゴールで、生活の中の様々な分野と関連していることを振り返る。	・スライド資料
(5分)	(2) 世界の福祉について学習することを学ぶ。	・福祉の定義を復習することで、青年海外協力隊員の活動がスリランカの人々の生活に深く関わることに気づかせる。	・スライド資料
展開	(3) スリランカで働く日本人について知る。	・青年海外協力隊のイメージを共有する。 ・スリランカで働く青年海外協力隊員と NGO を紹介する文章と写真を組み合わせることで、イメージをつかむ助けとする。	・青年海外協力隊員の写真と紹介文
(35分)	(4) 青年海外協力隊員たちの活動が、SDGs のどの目標と関わっているか話し合う。	・カードと照らし合わせながら話し合うことで、他の班の意見と比較しやすくする。 ・SDGs の各目標の内容を振り返ることができるよう、カードの裏面には説明を載せる。	・SDGs カード ・ワークシート
	(5) 話し合った内容を班ごとに発表し、他の班の意見と比べる。	・発表する班は、選んだ理由を述べ、異なる意見がある班は理由を含めて意見を発表させることで、思考の過程や目標ごとの関わりを聞く側の生徒に紹介する。 ・様々な考え方があり、決まった正解はない問いなので、自分達の班の意見と異なる場合は、特に真剣に意見を聞くよう促す。 ・発表で出た目標の番号を黒板に書き、生徒に分かり易く整理する。	

<p>まとめ</p> <p>(10分)</p>	<p>(6) 世界で働く日本人の活動とSDGsの関わりを学んで、現在13歳の中学生にできることを考える。</p> <p>(7) 自分達にできることを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年海外協力隊員のように海外に出て行って活動することはできなくても、身近な生活の中でできることはないかと助言する。</li> <li>・自分と異なる意見から新たな発見があることを助言し、真剣に伝え合い、聞き合う雰囲気を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul>
-------------------------	---	---	---

【授業実践の様子】



導入部分



青年海外協力隊員の活動紹介



青年海外協力隊員と活動の組み合わせ



話し合い活動①



話し合い活動②



ワークシートの提示

## 【6】 本時の振り返り

総合的な学習の時間に行っている福祉の学習とつなげて実践授業をしたことで、生徒にとっても深く考えることができたと思う。青年海外協力隊員の活動を文章にして写真と合わせながら読むことで、クラス全体が自発的に取り組み、活動の苦労や活動する中で大切にしている部分をより深く伝えることができた。SDGsのカードを利用することで、様々な意見を出すことができた。生徒が自分の意見を伝える姿からは、未来を生きるひとりとして真剣に向き合おうとする気持ちを感じられ、頼もしく思った。活動を精選し、数を少なめに設定したことで、話し合い活動と意見発表の時間を十分にとることができた。

## 【7】 単元を通した児童生徒の反応／変化

<授業後の生徒の感想より>

- ・最初、スリランカは豊かな国だと思っていたけれど、勉強したらまだまだ課題があり、自分達も支援をしたいと思った。スリランカ以外の国でも、このような課題のある国があるから大切にしたい。
- ・青年海外協力隊などの取り組みで、世界の国々を助けている日本人がたくさんいるとわかった。
- ・今までの学習から、改めて青年海外協力隊はすごいなと思った。なぜなら、日本から遠い土地でみんなのために頑張ってくれているから。僕も何か協力したい。
- ・ひとりひとりの人権を大切にすることや環境を守ることの大切さが改めてわかった。
- ・SDGsを全部達成するのは難しいが、それに役立つことをしようと思う。

### 【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲】

<「13歳の私たちにできることは何かがあるか」の生徒記述より>

今の生活を大切にする・自然からの資源を大切にする・ゴミを分別して捨てる・募金をする・給食を残さず食べる・着なくなった服をリサイクルするプロジェクトに参加する・ゴミの量を減らす・たくさん食べられることに感謝して、好き嫌いしないで食べる・無駄な物は買わない・色々な国を理解して、福祉がすすめられるようにする・仲がいい、悪いに関わらず、困っている人がいたら助け合う・青年海外協力隊やピースウィンズジャパンという人達がいることを伝えていく・SDGsを知らない人に伝えて、知ってもらい、理解してもらう

### 【途上国・異文化への意識の変容】

<授業前>

1年生の各クラスで「将来海外を訪れてみたいと思いますか」というアンケートを行ったところ、「訪れてみ

たい」と解答した生徒は約60%、「訪れたいと思わない」と解答した生徒が約40%あった。「訪れたいと思わない」と解答した生徒の理由は、海外は治安が悪いから、言葉が通じないから、日本だけでも楽しいことはたくさんあるからというものだった。スリランカという国の名前を聞いたことがあるという生徒も少なく、名前を知っていたとしても、どんな国なのかよく知らない生徒が多かった。

#### <授業後>

最初は食生活や文字の違いにとっても興味をもち、知らないことを知る楽しさから生き生きと授業を受けていた。3回の学習を通して、単に異文化を知るというだけでなく、その地で熱意をもって活動する青年海外協力隊を知ったり、SDGsを通して世界の福祉について深く学んだりする中で、ただ新しく知ることを楽しむだけでなく、日本や世界の課題に対して真剣に考える姿が見られ、授業者としてもうれしい驚きであった。

#### <生徒の感想から>

- ・この授業を通して、世界では貧富の差がとても大きいと改めて感じた。
- ・SDGsを一生懸命伝えても、実際に行動しようとする人はわずかなのではないかと思う。きっと自分には関係ないからと言って忘れる人もいると思う。それでも必死に伝えるということは、それだけ大切なことなんだなと思った。
- ・日本のように豊かな暮らしができる場所もあれば、世界にはみんなが平等に暮らせない場所もあると知った。SDGsをすすめていくことで、それが少しでも解決できるというのが分かり易くていいと思った。
- ・（今回取り上げた）3人の方みたいに、実際に外国へ行ってその国の人のために活躍している人が少しずつ増えていけばいいと思った。私も実際に外国へ行き、現状を人々に伝えていくことをしてみたい。

## 【8】自己評価

### 1. 苦労した点

- ・実際に現場を見てきた者として、伝えたいことや話したいことがたくさんあったが、それを単元として必要な物を精選して学習活動に組み込むということに苦労した。
- ・事前、事後研修で開発教育について勉強してきたが、学習者が当事者としてどう生きるかを考えることがゴールだと教わったので、そこにたどり着く授業にするためにはどういう展開が必要かを考えることが難しかった。
- ・今後の授業にどうつなげるのかを考えて実践することが大切である。3回の授業だけで終わってしまうのでは、SDGsも忘れ去られてしまうので、少しずつでもSDGsの観点に立ち戻りながらできることを考える必要がある。

### 2. 改善点

- ・授業の中でもっと強調すべきだったと思うことは、「私が見てきたことが全てではない」ということである。青年海外協力隊員の活動やスリランカの現状を主観だけで伝えてしまうことがあったのではないかと振り返り、反省する。

### 3. 成果が出た点

- ・SDGsを伝えたい思いがあったので、この活動を取り入れることができたのは良かったと思う。今後、自分でも開発教育についてさらに勉強し、様々な観点でSDGsに触れながら学習をすすめていきたい。
- ・生徒が真剣に考える姿や素直な感想から、広い世界の出来事を少しでも身近に感じて、将来の生き方の選択肢を広げるきっかけになったのではないかと思う。

#### 4. 備考

事前・事後の研修を含め、この教師海外研修は私にとってとても勉強になるものであった。日々の仕事に追われるだけで終わってしまうのではなく、今後、教師として何を伝えていきたいのかを改めて考える機会になった。スリランカで出会った皆さん、研修でお世話になった方々、JICAの皆さん、教師海外研修の仲間、授業から再び深く考えるきっかけをくれた1年生、快く送り出して下さった新見第一中学校の先生方には感謝でいっぱいです。ありがとうございました。

#### 【参考資料】

##### <書籍>

- ・「未来を変える目標 SDG s アイデアブック」一般社団法人 Think the Earth・紀伊國屋書店（2018）
- ・「SDG s 国連世界の未来を変えるための17の目標 2030年までのゴール」日能研・みくに出版（2017）
- ・「地球の歩き方 スリランカ2018~2019」地球の歩き方編集室・ダイヤモンド・ビッグ社（2017）

##### <Webサイト>

- ・「どうなってるの？世界と日本」JICA  
[https://www.jica.go.jp/aboutoda/interdependence/child\\_world/index.html](https://www.jica.go.jp/aboutoda/interdependence/child_world/index.html)



## ワークシート

Q. 2つの写真を見て、わかること・考えられる問題点を書きましょう。

①の写真

②の写真

Q. 今日の学習で新しく知ったことはどんなことですか。

---

---

Q. 今日の活動から感じたことや考えたことを書きましょう

---

---

学習日： 月 日 氏名 \_\_\_\_\_

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

## 「持続可能な開発」とは？

- ・ 将来の世代のため、環境や資源を壊さずに、今の生活をより良い状態にすること
- ・ 世界が共に成長し、他者を思いやり、環境を大切にしている取り組み

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

## 世界のふ・く・し

世界で働く日本人から学ぼう

## 「福祉」とは

**ふ** だんの  
**く** らしを  
**し** あわせに

青年海外協力隊 尾崎隊員



私は知的障がいのある女性が暮らし施設で支援員として働いています。

ここには大人から子供まで75人の入所者がいます。

スリランカでは、まだまだ障がいに対する理解が進んでいません。障がいのある子供はなかなか学校に通うことができません。彼女たちが社会に出るには、メイドとして働くか、お嫁に行くという選択校しか考えられないのが現状です。

彼女たちの中には、マット作りや刺しゅうの訓練をしている人がいます。作成したマットや刺しゅうは、地域のお店で売って、彼女たちの必要なお金にする活動を進めています。

職業に就くための技術を習得したり、衛生面に関する知識を得られるように日々支援しています。

障がいに対する偏見や理解を劇的に変化させるのは難しいことですが、少しずつでも彼女たちが暮らしやすくなるために声をあげることで、環境も変わっていくのだと信じて活動しています。

ピースウィンズ ジャパン 佐藤さん



私は内戦のあった地域を復興させる活動をしています。スリランカでは2009年まで内戦があり、その被害で壊滅した街もあります。その街に再び人が住めるようにするためには、仕事が必要です。

この地域では牛乳や水牛のミルクを売る仕事をしているのですが、牛乳を売るだけでは利益は多くありません。牛乳を加工する技術を伝えてミルクトフィというお菓子を作ることで、売り上げを上げる工夫をしています。

地域の人と一緒に農業用のため池を作ったり井戸の修理もします。そこで大切なのは、何でも日本人が支援としてやってしまうのではなく、地域の人々と一緒にやるということです。地域の人々の手を借りて作ることで、もし壊れてしまっても彼らで修理ができるし、「自分たちの池」という意識が芽生え、大切に使うことができます。

私たちがここからいなくなっても、地域の人々の力でやっていけることを残すことが大切です。

青年海外協力隊 金地隊員



私はコロンボ近郊のごみ処理場で働いています。ここには毎日多くのゴミが運ばれてきます。この処理場は運んできたゴミを焼却処理していますが、それでは間に合わないくらいのゴミの量で、この周りは焼却処理を待つゴミの山だらけになっています。

以前、別の処理場では積み上げたゴミがなだれを起こして崩れ、地域の住民の方が亡くなるという被害がありました。積み上げた山からは、汚染水が流れ出し、地域の人が使う川に流れ込むこともあります。

私はここで、①ゴミの分別率をあげる ②生ゴミから肥料づくりをするという環境改善プログラムに取り組んでいます。生ゴミから作った肥料をスリランカの農業で使うことが普及してほしいと考えて活動しています。

私一人で行うのではなく、スリランカ人の職員さんと一緒に活動します。自分の思いがなかなか伝わらず、苦労することもあります。将来的には、スリランカの人たちでこの活動を行っていき、地域に根付いてくれるようになれば良いと思います。

Q. 彼らの活動は、SDGsの目標の、どれと関連しているのでしょうか。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Q. 今、13歳の私たちにできることは何があるのでしょうか。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# ワークシート

Q彼らの活動は、SDGsのゴールのどれと関連しているでしょうか。○をつけましょう。

① 尾崎隊員の活動



② 佐藤さんの活動



③ 金地隊員の活動



Q. 13歳の私たちにできることは、何があるでしょうか。

.....

.....

.....

Q. 今日の活動や、今までの学習から感じたことや考えたことを書きましょう

.....

.....

.....

学習日： 月 日 氏名 \_\_\_\_\_

世界の ③だんの くらしを しあわせに  
のために働く日本人から考えよう!

この活動に関わる SDGs: [Icons]

授業の中で1年生の みんなが考えたSDGsです。

この活動に関わる SDGs: [Icons]

この活動に関わる SDGs: [Icons]

知ってる? SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「持続可能な開発」とは?

- 将来の世代の生活、環境や資源を豊かにし、今の生活をより良く持続させること
- 世界の共に成長し、誰もが豊かになり、地球や大気や水など多岐にわたる持続可能な開発を行うこと

13歳の私たちにできることは、何があるでしょうか。

1年生のみんなから出た意見をまとめました。

この学習を通して考えたこと

未来を担う私たちにできることは何か、みんなの感想から深く考えさせられました。

- 日本には豊かすぎるからSDGsの目標は、平均がSDGsの目標と比べて低く、SDGsの目標は達成しにくい。
- 私たちが海外へ行く、現地の人々にはSDGsの目標は必要です。
- 日本が海外に行くとSDGsの目標は達成しやすくなります。
- SDGsは世界を豊かにする目標があることがわかった。他の国には、SDGsの目標を達成するために努力が必要だとわかった。
- 貧困の解消はSDGsの目標であるが、SDGsの目標は達成しにくい。